

1:25,000 活断層図の利活用事例

- 活断層に関する調査・研究の基礎情報
- 地域防災計画見直し、ハザードマップ作成
- 公共建物等の耐震化及び建替時の移転計画
- 学校教育・防災意識の啓発



長野県伊那市

< 活断層情報を表示した伊那市防災マップ >

https://www.inacity.jp/bohan_bosai_kinkyu/bosai_bohan/bosaimap/inashibosaimap.html



「徳島県南海トラフ巨大地震等に係る震災に強い社会づくり条例」第 55 条に基づく「特定活断層調査区域」指定のため、国土地理院の活断層図を基礎資料として徳島県独自の活断層調査を実施。調査結果は「活断層図」としても公開

< 徳島県中央構造線活断層帯 活断層図 >

<https://anshin.pref.tokushima.jp/docs/2012100300032/>

九州地方整備局立野ダム工事事務所

2016 年熊本地震を起こした断層
Futagawa Fault which caused 2016 Kumamoto Earthquake

南阿蘇村河内川付近から西原村、益城町を通り、宇土半島にまで延びる、長さ約 64km、全体的に右横ずれを主体とした活断層です。これまでの文献や地形・地質の調査から、ここに活断層の存在が推定されていましたが、2016 年熊本地震では実際に右横ずれが発生し、推定通りの位置で確認されました。立野ダムの調査・計画時点から、この地点を断層が横切っていることは把握されており、このことを踏まえたダムの配座、安全な設計がなされています。

Futagawa Fault is an active fault of 64km which mainly has right-lateral deviations as a whole. The fault extends from Kawayo-Minamisio village to Uto Peninsula via Nishihara village and Mashiki town. Existence of the fault was presumed by research papers and topographic and geologic surveys. And the fault was confirmed by the 2016 Kumamoto Earthquake which actually cause right-lateral deviations in the assumed locations. From the investigation and planning stage, it was recognized that the fault is crossing the predetermined area of Tateno dam. Then, the dam design and arrangement are taking this into consideration.

阿蘇ユネスコジオパーク
ASO UNESCO GLOBAL GEOPARK

平成 28 年の熊本地震により地震断層が現れた地点に看板が設置されている



「資料提供：九州地方整備局立野ダム工事事務所」

山形県酒田市

酒田市 Sakata City Website

活断層及び活断層付近の主な市の施設の調査結果について

調査方法
国土地理院地図「都市部活断層図 (25,000分の1)」を使用し、地図判読により断層等の両側概ね 50メートル以内 (※) に設置されている市有施設を調査。
※両側概ね 50メートル以内とは、東の調査に準拠

調査箇所から 50メートル以内の主な施設名
活断層及び活断層名 施設名 断層名 調査年 防災施設

酒田市の調査結果

- 松山小学校
- 八幡保育園及び南平田小学校

断層化されており、現状で利用する。

酒田市は活断層図に表示された断層等の、両側概ね 50m以内に設置されている市有施設を特定・調査し、調査結果と今後の対応(強化・移転等)を公表

< 活断層付近の市有施設の調査に活用 >

<https://www.city.sakata.lg.jp/bousai/bousai/kazan/shisetsuchosakekka.html>